



# どうし ていねい 動詞の丁寧形「～ます」

どうし きほんこうぞう  
P39 動詞の基本構造を  
参照しながら進めてください。

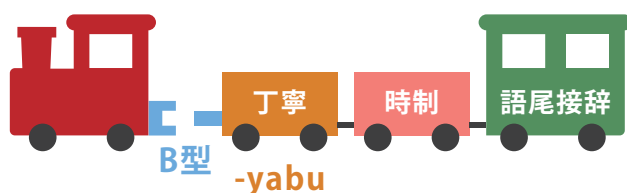
この課では「食べます」「歌います」「行きます」のように、聞き手に敬意をもって、丁寧な表現にする動詞の形(丁寧形)を学びます。

## ポイント

1. 動詞の丁寧形「～ます」は、動詞の語基B型に、丁寧形の接辞 **-yabu**<sup>1</sup> を付ける。
2. 丁寧接辞の後ろに時制接辞、語尾接辞が続く。

## 1. 丁寧形

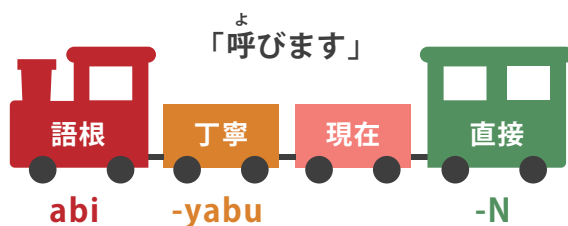
丁寧接辞 **-yabu** は、語基B型に接続し、その後に時制(非過去／過去)を表す接辞と語尾接辞が接続して動詞が完成します。



丁寧接辞の後に来るとき、非過去接辞は形を持たないのですが、過去接辞 **-a** は形として現れます。「呼ぶ」という動詞を例に、見てみましょう。

### (1) 非過去の丁寧形

「呼びます」は、「呼ぶ」の語根 **abi**<sup>2</sup> に、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞 **-N** が接続して **abi-yabu-N** 「呼びます」となります。



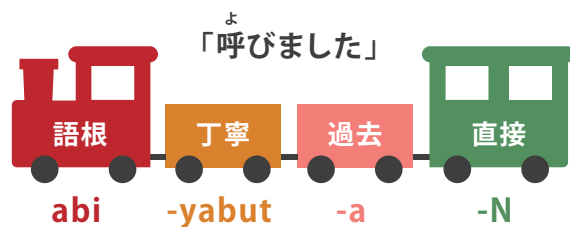
<sup>1</sup> - は接辞のマークです。

<sup>2</sup> 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。



## (2) 過去の丁寧形

「呼びました」は、「呼ぶ」の語根 **abi** に、丁寧接辞 **-yabu**、過去接辞 **-a**、直説接辞 **-N** が接続して **abi-yabut-a-N** 「呼びました」となります。



過去接辞 **-a** は語基C型に接続する接辞なので、**-a** がつく語根が **abi** ではなく **abit** という形に変わる点に注意してください(3-15「動詞の過去形」を参照)。

語基B型には方言差があることが分かっているので、以下では西部方言の代表として上平川方言、東部方言の代表として国頭方言を例に具体的な形を見てみましょう。

### 1-1 上平川方言

上平川方言の語基の変化の仕方は、表1の通りです。例えば「待つ」という動詞の基本語根は **mat** です。「待ちます」と言いたいとき、「待つ」**mat**の語基B型 (**mat**のまま)に、丁寧接辞 **-yabu**と直説接辞 **-N**を付けて、**mat-yabu-N** 「待ちます」と言います。

表1. 語基の末尾音の変化(上平川方言)

語基の末尾	① ぼいん 母音 終わり	② s 終わり	③ k 終わり	④ t 終わり	⑤ g 終わり	⑥ n 終わり	⑦ m 終わり	⑧ b 終わり
例	abi 「呼ぶ」	nas 「産む」	hak 「書く」	mat 「待つ」	uig 「泳ぐ」	sin 「死ぬ」	kam 「食べる」	asjib 「遊ぶ」
語基A (基本形)	ぼいん 母音	s	k	t	g	ny	m	b
語基B	ぼいん 母音	s	k	t	g	n	m	b
語基C	ぼいん 母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

## 1-2 国頭方言

国頭方言の語基B型は、表2の通りです。例えば「待つ」という動詞の基本語根は **mat** です。「待ちます」と言いたいとき、「待つ」**mat**の語基B型 **mac** に、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞 **-N** を付けて、**mac-yabu-N** 「待ちます」と言います。

表2. 語基の末尾音の変化(国頭方言)

語基の末尾	① ほいん 母音 終わり	② s 終わり	③ k 終わり	④ t 終わり	⑤ g 終わり	⑥ n 終わり	⑦ m 終わり	⑧ b 終わり
例	abi 「呼ぶ」	nas 「産む」	hak 「書く」	mat 「待つ」	uig 「泳ぐ」	sin 「死ぬ」	kam 「食べる」	asjib 「遊ぶ」
語基A (基本形)	ほいん 母音	s	k	t	g	n	m	b
語基B	ほいん 母音	s	c	c	z	n	m	b
語基C	ほいん 母音 t	ch	ch	ch	j	j	d	d

## 2. 語基に -i がつく丁寧形

国頭方言では、語基が母音終わりの時などに、丁寧接辞の前に **-i** が入ることがあります。例えば、「怒ります」という動詞は、「怒る」の語根 **ama** に、**-i** がついてから、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞 **-N** がついて、**ama-i-yabu-N** 「怒ります」となります。他にも、「書きます」は「書く」の語根 (語基B型) **hac** に **-i** がついてから、丁寧接辞 **-yabu** と直説接辞 **-N** がついて、**hac-i-yabu-N** 「書きます」と言うこともあります。どんな時に **-i** が入るのかは、まだ完全には分かっていません。

発音してみよう！

ていねい けい い ひょうげん どうし  
丁寧形は、話し相手や聞き手に敬意を表す上でとても大切な表現です。いろいろな動詞の  
ていねい だん だん ひょーむに だん  
丁寧形を、発音してみましょう。2段ある場合、上の段が上平川方言（西部方言）、下の段が  
くんじゃいむに  
国頭方言（東部方言）を表しています。

あ び や ぶ ん  
**abi -yabu -N**  
呼ぶ -丁寧 -直説

「呼びます」

な し や ぶ ん  
**nas -yabu -N**  
産む -丁寧 -直説

「産みます」

し に や ぶ ん  
**sin -yabu -N**  
死ぬ -丁寧 -直説

「死にます」

は き や ぶ ん  
**hak -yabu -N**  
は ち ゃ ぶ ん  
**hac -yabu -N**  
書く -丁寧 -直説

「書きます」

ま て や ぶ ん  
**mat -yabu -N**  
ま ち ゃ ぶ ん  
**mac -yabu -N**  
待つ -丁寧 -直説

「待ちます」

う い ぎ や ぶ ん  
**uig -yabu -N**  
う い じ ゃ ぶ ん  
**uiz -yabu -N**  
泳ぐ -丁寧 -直説

「泳ぎます」

か み や ぶ ん  
**kam -yabu -N**  
食べる -丁寧 -直説

「食べます」

あ し び ゃ ぶ ん  
**asib -yabu -N**  
遊ぶ -丁寧 -直説

「遊びます」

### 練習問題

どうし ていねい  
次の動詞の丁寧形を予想して書いてみましょう。

(1) **nibu** 「眠る」 → ( ) 「眠ります」

(2) **furus** 「殺す」 → ( ) 「殺します」

(3) **ak** 「歩く」 → ( ) 「歩きます」

(4) **tat** 「立つ」 → ( ) 「立ちます」

(5) **fug**<sup>3</sup> 「(船を)こぐ」 → ( ) 「(船を)こぎます」

(6) **num** 「飲む」 → ( ) 「飲みます」

(7) **tub** 「飛ぶ」 → ( ) 「飛びます」

<sup>3</sup> fug, fuugという地域もあるようです。

